

専門基盤科目の科目概要(1) - 中心科目 -

科目区分	科目名	科目概要
中心科目	人間関係論	人間関係学を構成する概念である「対人認知」、「社会的相互作用」、「コミュニケーション」と3つの専門分野（コミュニケーション学、心理学、社会福祉学）の関連と、人間関係学科が育成を目指す人間関係力、すなわち「人間を総合的に理解する力」、「人間関係を調整する力」、「人間関係を機能させる力」の内容について学修し、専門教育科目の学修の目的を理解するとともに、自己の研究テーマについて考える。
	人間関係演習 I	人間関係論の本格的実践として3年次に設定されている「人間関係プロジェクト演習」受講の準備段階として、所定の研修先に赴き、現場にて人間関係の視点から観察実習を行う。実社会の現場で人間関係にまつわる諸問題がどのような形で現れ、それぞれの場でいかなる対応や対策をしているのかを直接的に観察学習することで、社会の実態を知るとともに、学生自らが現場での課題のありようを認識し、協働・共生社会の実現に向けて必要とされる知見を得ることを目的とする。
	人間関係演習 II	人間関係論の本格的実践として3年次に設定されている「人間関係プロジェクト演習」の準備科目「人間関係演習 I」の後続科目として、所定の研修先での観察実習から得られた知見をさらに実践的な場で進展させ、より具体的かつ実質的な成果を目指し、現場での活動に携わりながら人間関係の視点からの思考力と現場実践力を鍛えることを目的とする。
	人間関係プロジェクトA (コミュニケーションと心理)	3年次必修に設定されている本科目では、文化・国籍・言語・所属・世代など、さまざまに立場や地位が異なる人々がかかわる場を想定し、観察実習を行う。ことばやコミュニケーションの力、そして心理学的知見を応用し、協働・共生の精神に基づく活動を行うことを目指す。
	人間関係プロジェクトB (福祉とコミュニケーション)	3年次必修に設定されている本科目では、文化・国籍・言語・所属・世代など、さまざまに立場や地位が異なる人々がかかわる場を想定し、観察実習を行う。ことばやコミュニケーションの力、そして福祉にかかわる知見を応用し、協働・共生の精神に基づく活動を行うことを目指す。
	人間関係プロジェクトC (心理と福祉)	3年次必修に設定されている本科目では、文化・国籍・言語・所属・世代など、さまざまに立場や地位が異なる人々がかかわる場を想定し観察実習を行う。心理学的知見および福祉にかかわる知見を応用し、協働・共生の精神に基づく活動を行うことを目指す。